

マンハッタンの二人の男 (1958)

DEUX HOMMES DANS MANHATTAN

メディア 映画

ジャンル 犯罪 ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 84分

初公開日 1990/01/03

公開情報 ケイブルホーグ

【解説】

ゴダールの「勝手にしやがれ」は、本作のメルヴィル自身によるゲリラ的NYロケの夜間シーンに刺激されて作られたーと言われる。“ヌーヴェル・ヴァーグの先駆け”という呼び方はメルヴィルの圧倒的個性に対し失礼に当たる気がするが、ジャック・ベッケルと共にそう呼び慣わされる異才の、ムードかつ軽快なサスペンスの傑作だ。ニューヨークの国連本部本会議に出席しているはずの仏代表ベルティエの不在を怪しんだジャーナリスト（メルヴィル自演）は、相棒のカメラマンと共に行方を追い、彼が愛人の女優の部屋で急死した事実をつき止める。レジスタンスの英雄だったベルティエの名誉を守ろうと、スキャンダルを闇に葬ろうとするが、相棒はそれで政府を揺すろうと企む……。自身レジスタンスに参加していたメルヴィルの抵抗運動に対する敬意と誇りが読み取れる内容で、気怠いマンハッタンの夜を徘徊する男たちをノワール的に捉え、M・ソラル（「勝手にしやがれ」の音楽も担当した）のモダン・ジャズの演奏も単なる装飾に終わってはず、映画のスリルを高めている。

【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
製作	フロランス・メルヴィル レオモンド・ブロンディ	
脚本	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
撮影	ジャン＝ピエール・メルヴィル ニコラ・エイエ	Jean-Pierre Melville Nicolas Hayer
音楽	クリスチャン・シュヴァリエ マルシャル・ソラル	Christian Chevallier Martial Solal
出演	ピエール・グラッセ ジャン＝ピエール・メルヴィル クリスティアーヌ・ウード アレクサンドラ・スチュワルト	Pierre Grasset Jean-Pierre Melville Christiane Eudes Alexandra Stewart